

文人畫選

第一輯 六册

特280-13



1200501132464

特280

3



始



文人畫選 第一輯第六冊

歸堂學人 大村西崖鑒輯

東京 山本二峯君藏

一、明沈周獨葵圖 紙本淡彩 高四尺二寸一分五厘 闊一尺四寸七分五厘

沈石田は第三冊に其山水を出せり。今其花卉を掲ぐ。惟ふに惲南田の沒骨花卉の大成するや、是れに先だちて、石田、忘菴等の早く既に其先路を道びけるあり。本圖の如き以て之を徴するに足る。

大阪 阿部房次郎君藏

二、張璠圖殘夜水樓圖 金箋水墨 高二尺二寸七分 闊九寸四分

張璠圖字は長公。二水と號す。泉州晉江の人なり。萬曆三十五年殿試第三人たり。仕へて建極殿大學士に至り、召されて内閣に入る。後徒に坐して、贖うて民と爲る。山水大癡を法とし、蒼勁にして骨あり。皴法往々奇巧を極む。書法奇逸。鍾王の外に蹊徑を闢出す。本圖以て畫風の一斑を窺ふに足る。

東京 山本二峯君藏

三、盛茂輝松石藤蘿圖 絹本淡彩 高五尺二寸五分 闊三尺三寸

盛茂輝。念菴と號す。又研菴に作る長州の人なり。山水布景設色頗る烟林清曠の概を具し、皴法樹法一家の特趣あり。人物亦精工。力を點景に用ゐたるを見る。本圖は其遺作中の一大佳作にして、其畫風を鑒賞するに宜し。

東京 副島延一君藏

四、五馬守眞畫冊

第二冊出す所の畫冊、今又其兩頁を掲ぐ。

東京 内野岐亭君藏

六七 清王鑑雲壑長松圖 絹本青綠 高五尺九寸一分 闊一尺八寸八分

王廉州は第一冊に出でたり。茲に掲ぐるは、遺作中罕に觀る青緑の大作にして、以て其變化の豊富、術技の精妙を賞する

に足る。今別に圖中一部の影寫を載せて、其細局を観るに便す。

八 王暈寒林歸鳥圖

紙本淺絳 高三尺四寸五分 濶一尺六寸四分

大阪 阿部房次郎君藏

王石谷は第二、第四冊に出てたり。茲に又其逸品を掲ぐ。平生の精巧と頗る趣を殊にし、生拙の筆致、雅韻極めて高し、石谷を視て作家の習氣ありと評する者、須く此畫を精鑿すべし。

九 傅山斷崖飛帆圖

紙本水墨 高四尺七寸 濶一尺六寸

大阪 阿部房次郎君藏

傅山字は青主、又青竹、一字公之他。齋廬と號す。太原の明經なり。康熙五十四年歳七十餘にして、徵されて鴻博に擧げらる。京に至り、城西の古寺に堅臥して試に與らず。中書舍人を授けらる。老病を以て辭して歸る。其山水骨を以て勝る。墨竹亦氣あり。詩文を工にし、兼ねて隸書及金石篆刻に長じ、又醫に精し。著霜紅集あり。茲に出す所の圖は草々興に乗じて一揮意に經せざる作にして、雅趣却つて横溢せる逸品なり。

十 董邦達山水册

東京 黒澤禮吉君藏

第四冊以下連載せるもの、二頁なり。

十二 潘恭壽雪景圖

紙本水墨 高四尺四寸六分 濶九寸八分

大阪 阿部房次郎君藏

潘恭壽字は慎夫。蓮粟と號す。丹徒の人。山水師承なし。亦善く人物を畫く。士女秀韵古に合ふ。佛像亦見るべし。乾隆六年に生れ、五十九年に卒す。歳五十四。本圖以て山水の巧を観るべし。

十三 黄易枯木竹石圖

紙本水墨 高三尺六寸四分 濶一尺二寸八分

東京 滑川澹如君藏

黄易字は小松。樹穀の子。仕へて山東の同知と爲る。山水董巨の法を得たり。詩文篆刻を工にす。乾隆九年に生れ、嘉慶

六年卒す。歳五十八。著小蓬萊詩あり。本圖以て其畫風の概を見るに足る。

十四 奚岡山水册

臺灣 林熊光君藏

第四冊及第五冊連載せるもの、一頁なり。

十五章 谷秋景圖

紙本淺彩 高五尺一寸八分 濶一尺五寸七分

侯爵 尙昌君藏

前出聯幅の一なり

十六 吳熙載桃花扇面

紙本水墨 高六寸二分 濶一尺七寸八分

男爵 杉溪六橋君藏

吳熙載。原名廷燾。字は讓之。晚學居士と號す。江蘇儀徵の人なり。包世臣の弟子にして花卉篆隸鏤刻を工にす。其蹟尙多く我が國に流傳せず。本圖にて其技風を観るべし。

十七 日本山本梅逸夏山煙雨圖

紙本水墨 高三尺九寸五分 濶一尺二寸

越後 眞島桂次郎君藏

大式 前出諸圖款印

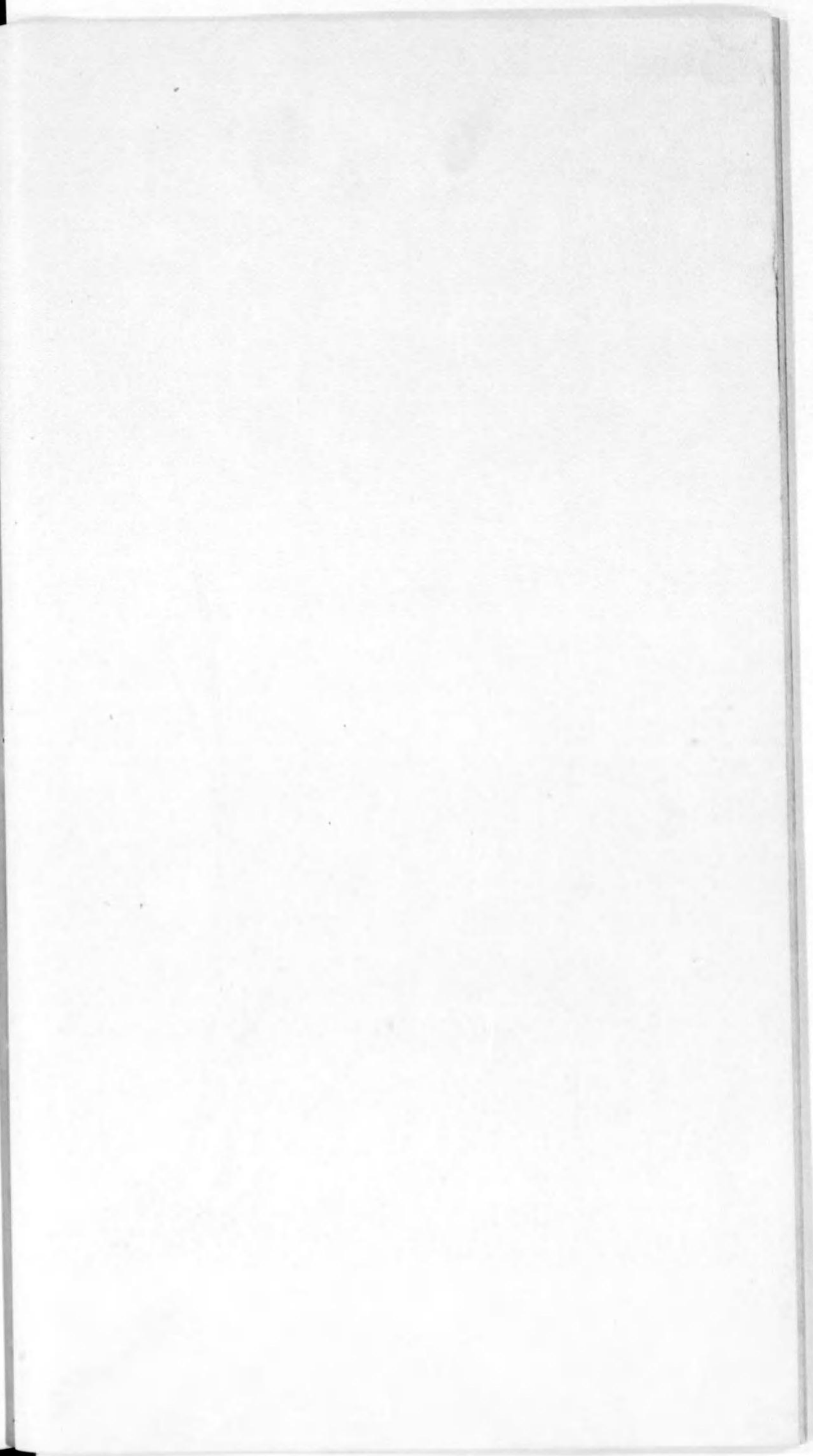
第四冊評解第二紙表第二行朱夫第三行朱套は朱套の誤。

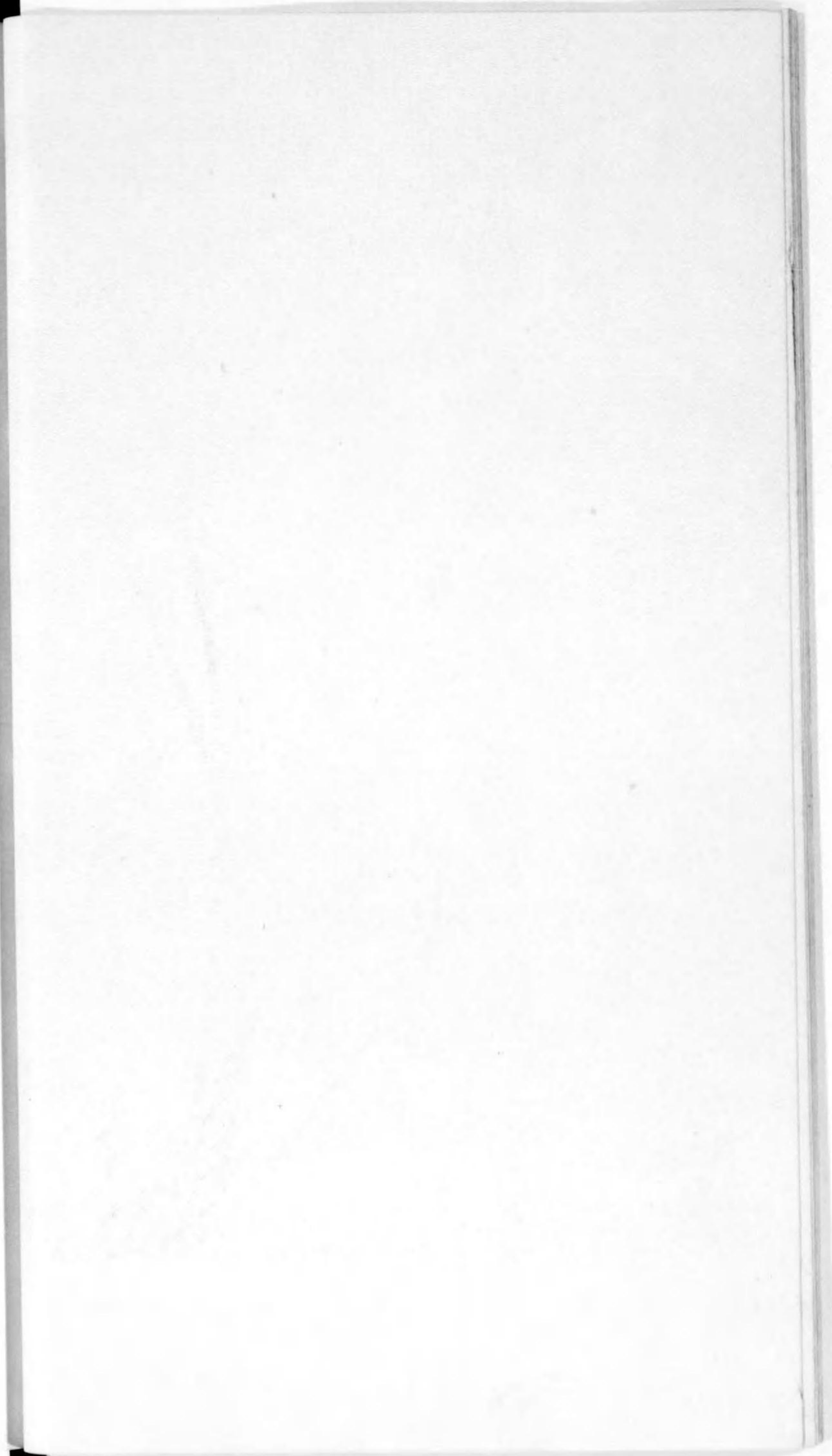






石湖堂  
蘇州不許年  
崇禎辛巳夏  
吳門吳昌碩













潜玉李天下山水师

秋声寓寒林千金雅

易：藏身亦腹月

雪空时冰散

石谷李

古人明堂水金之五月

月可居起月不殊澄漆盖

之秋雪深法散寒秋金自出

水清若：音以透透年首

者是至言亦音以透透年首

是清若如言秋矣

耕田不：李书六云云

本



秋  
景  
多  
佳  
處  
有  
此  
景  
多  
佳  
處  
有  
此  
景







新雪晴山何重湖  
願觀湖野燒鐵永  
健寒聲  
刁斗吹通英法定  
人歌鐘指明月  
陸子明湖山頂  
中書省  
是時全  
元  
之  
年  
畫



枯樹  
清酒洗  
枯樹  
清酒洗  
枯樹  
清酒洗





扁舟無去住  
戲蕩一溪雲  
明也







初化翮

四更山吐月殘夜水  
明樓果亭回寫

乙未沈周

盛茂雄松石藤羅

款題圖樓水夜殘圖瑞張

圖松長壑雲鑑王  
印款



印款圖帆飛星斷山傅

仲黃易

黃易枯木竹石圖款印

王鑑

盛茂雄松石藤羅圖款印

景  
營丘李夫子天下山水師

放筆寫寒林千金難

易之  
歲次辛未臘月十日

雪空呵凍戲墨

石谷子畫



潘恭壽臨



潘恭壽雪景圖款印

王蒙寒林歸鳥圖  
題款 其一

吳熙載桃花圖款印



古人惜墨如金之不用墨耳

且可層起用之不殊塗漆蓋墨

之輕重濃淡氣象顏全自此出

所謂者之筆氣透過筆背

者也畫家每看筆後思淡

墨惜墨四字哉矣

耕煙散人王蒙書於長安

舍



大正七年十二月九日印刷  
大正七年十一月九日發行  
編輯者 東京市牛込區美土町三番地西崖十二號  
發行所 東京市牛込區美土町三番地西崖八號  
丹 青 社  
水 上 齊  
振替口座東京參貳七四號



終

